

弥生文化の基礎は農耕、特に水田でのコメ作りだと考えられています。弥生研究の主テーマは各地での稲作の導入過程とその展開・結果の追求だったといつてよいでしょう。登呂遺跡で水田が最初に見つかったから現在まで、その具体像はおおよそ明らかになったといえますが、解決していない論点も残り、新たな分析手法の導入で逆に深まる謎もあります。

本展では、水田というコメを栽培する場に焦点を当てるとともに、近年みえてきた畠作の問題を取り上げます。農耕の意味を知るには、栽培はもちろん、収穫、保存、食べるまで含めて考える必要があります。鍬や石庖丁などの農具、収穫物の処理、料理方法まで対象を広げ、弥生時代をどう捉えるのかという大問題を、今日の目で改めてみつめなおします。

- ※来館時は必ずマスクを持参・着用してください。
- ※入館時に検温を求められる場合がございます。
- ※混雑を避けるため、入場制限を行う場合がございます。
- ※当館の最新情報はホームページをご確認ください。



弥生博HP QRコード→

卑弥呼と出会う博物館
大阪府立弥生文化博物館
 Museum of Yayoi Culture
 指定管理者：大阪府文化財センター・近鉄ビルサービスグループ
 〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
 TEL.0725-46-2162 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

ACCESS

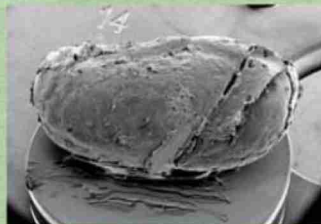
- JR阪和線「信太山」駅下車西へ約600m
 南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m
 【大阪方面からお越しの場合】
 JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、鳳(おおとり)駅で普通電車にお乗換えください。一部に、鳳駅まで快速、その後各駅にとまる「区間快速」もあります(くわしくは時刻表をご確認ください)。
 大阪駅からお越しの場合は、「関空・紀州快速」をご利用になると便利です。
 鳳から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。
- 国道26号「池上町」交差点南西角
 P普通車72台(無料)



博物館に弥生水田が出現!
 上田町遺跡(大阪府) 田面の剥ぎ取りパネル
 大阪府教育委員会
 (調査状況写真:松原市教育委員会)



弥生土器壺
 登呂遺跡(静岡県)
 重要文化財
 静岡市立登呂博物館



縄文時代の栽培グイズ
 酒呑場遺跡(山梨県)
 展示はグイズの庄痕レプリカ
 中山誠二氏
 (写真も、土器は山梨県立考古博物館所蔵でパネル展示)



木製農具
 納所遺跡(三重県)
 三重県埋蔵文化財センター

ごはんを炊いた土器
 山賀遺跡(大阪府)
 公益財団法人大阪府文化財センター

考古学セミナー

第1回 10月31日(土)

弥生農耕、
 近畿における始まり方①
 一副館長見解

秋山 浩三(当館 副館長)

第2回 11月14日(土)

弥生農耕、
 近畿における始まり方②
 一学芸課長見解

三好 孝一(当館 学芸課長)

- 時間：午後2時から午後4時
- 参加費：無料(14日は入館料も無料です)
- 注意：
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため以下の対策をおこないます。
- 定員をホール70名、サロンでのモニター中継30名の計100名といたします。
- 参加は完全予約制とします。往復はがきによる方法、来館して所定の用紙に記入する方法の2種類ございます。より多くの方にご参加いただくため、各回別に個人ごとで募集します。
- 往復はがきの場合、往信に氏名、住所、電話番号、希望する講演会名を明記の上、復信にご自分の宛名をご記入ください。
- ご来館される方法の場合、所定の用紙に必要事項をご記入ください。その際、復信用のはがきをご用意ください。
- 電話・ファックス・メールでの受付はいたしません。
- 応募が定員を超えた場合は抽選といたします。復信で結果をお知らせいたします。当日は復信はがきをご持参ください。
- 混雑をさけるため、当日定員に余裕があった場合でも事前申し込みのない方は聴講できません。
- 参加にあたってはマスクをご持参、着用をお願いいたします。

応募締め切り

- 第1回：10月18日(日)まで
- 第2回：11月1日(日)まで

担当学芸員による見どころ解説

1階ホールにて担当学芸員が展示の見どころを解説します。各回は同内容です。

10月24日(土)・11月3日(火・祝)・
 11月21日(土)・12月5日(土)

- 時間：午前11時から、午後3時からの2回(それぞれ50分程度 入退場自由)
- 参加費：無料(入館料は必要です)
- 定員：各回とも70名(10分前に開場 先着順)

状況の変化により内容に変更が生じることがあります。変更があった場合、博物館ホームページでお知らせいたします。ご確認をお願いいたします。